

Speaking the Unspoken Tales: The Image of Woman and the View of Life and Death in George MacDonald's Works

隈部, 歩

<https://hdl.handle.net/2324/4784371>

出版情報：九州大学, 2021, 博士（文学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：やむを得ない事由により本文ファイル非公開（3）

氏 名	隈部 歩			
論 文 名	Speaking the Unspoken Tales: The Image of Woman and the View of Life and Death in George MacDonald's Works (語られなかった物語を語る—ジョージ・マクドナルド作品における女性像と死生観)			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	鶴飼 信光
	副 査	九州大学	准教授	高野 泰志
	副 査	九州大学	准教授	武田 利勝
	副 査	福岡大学	准教授	福原 俊平

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

上記の論文は、英国の小説家ジョージ・マクドナルド（1825-1904）の作品における女性像、とりわけ、女性同士の結び付きや少女とその成長に着目しながら、死後にあるより豊かな生というキリスト教的な信条に焦点が当てられがちであったマクドナルドの死生観の、誕生やこの世の生をも重視する側面を考察するものである。論文タイトル中の“unspoken”という語は、マクドナルドの説教集のタイトル *Unspoken Sermons* に由来し、本論文がマクドナルドの創作した物語群のこれまで語られてこなかった部分に光を当てようとするものであることを示している。

序論、結論以外に四つの章から成る本論文の第1章は、長編『北風の後ろの国』（1871）を扱う。作品中、主人公ダイヤモンド少年は女性として登場する北風の身体を扉のように通り過ぎて「誕生」するように死後の世界を想起させる「北風の後ろの国」へ行くが、本章は、ダイヤモンド少年もまた、扉のように、北風を身体ある存在としてこの世界に「誕生」させていることに着目し、「誕生としての死」として死後のより豊かな生の主題が描かれているだけでなく、この世の生の重要性もまた作品が訴えるものであることを明らかにしている。

第1章は、女性登場人物たちが北風を身体化させるのを助けていることを示し、女性同士の結び付きの重要性をも解明しているが、第2章もまた、『王女とゴブリン』（1872）、『王女とカーディ』（1883）二部作における、同名の大祖母 Irene と幼い王女 Irene の擬似的母娘関係が、王女 Irene の平和の担い手への成長を実現させ、四代前の大祖母 Irene から新女王 Irene までの平和の始まりと終わりの円環が、有限なこの世の生の貴重さの表現になっていることを解明しながら、女性同士の結び付きの重要さに注意を喚起している。

第3章は、主に短編「フォトジェンとニクテリスの物語」（1879）を扱い、魔女の実験台として夜の闇を知ることがないよう育てられた少年フォトジェンと昼を知ることがないよう育てられた少女ニクテリスのうち、特にニクテリスが地震のせいで監禁場所から初めて外へ出て朝を迎え、昼を知る経験に着目し、それがニクテリスにとっても読者にとっても、擬似的な誕生として経験され、さらに、昼が夜に比べてより豊かであるように、現世より豊かであるだろう死後の世界への誕生としての死が示唆されることを、彼女の盲目だった母との関係への独自の着目とともに、解明している。

第4章は、長編『リリース』（1905）を扱い、ユダヤの神話学においてアダムのイヴ以前の最初の妻とされるリリース（男性に反逆する権力志向の女性としても描かれる）が、娘が命を奪うという予言を恐れ、娘ロウナ（母性的で清らかな女性として描かれる）を再会時に殺してしまうものの、この

ロウナこそがその死（ただしそれまでの彼女の生が擬似的な死だったのでこの死が逆に真の生となる）によって、母リリスに真の生を与える存在である、というこの対極的な母娘の実は非常に強固な関係を、イヴとマーラという作中のもう一組の母娘にも言及しながら解明し、生命の連続性を重要な主題として描くマクドナルドの死生観の新たな側面に光を当てている。

本論文は、非常に難解な『リリス』を含むマクドナルドの作品について、多くの先行研究をよく踏まえ、かつ、それらに対し歴然とした独自性を主張できる、重要で説得力のある解釈を数多く提示しながら、この作家の時代に先駆けた女性観と、独特の死生観を解明する優れた研究であり、本調査委員会は本論文の提出者が、博士（文学）の学位授与にふさわしいことを認める。